パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4261 番地

2026 年 11 月 26 日

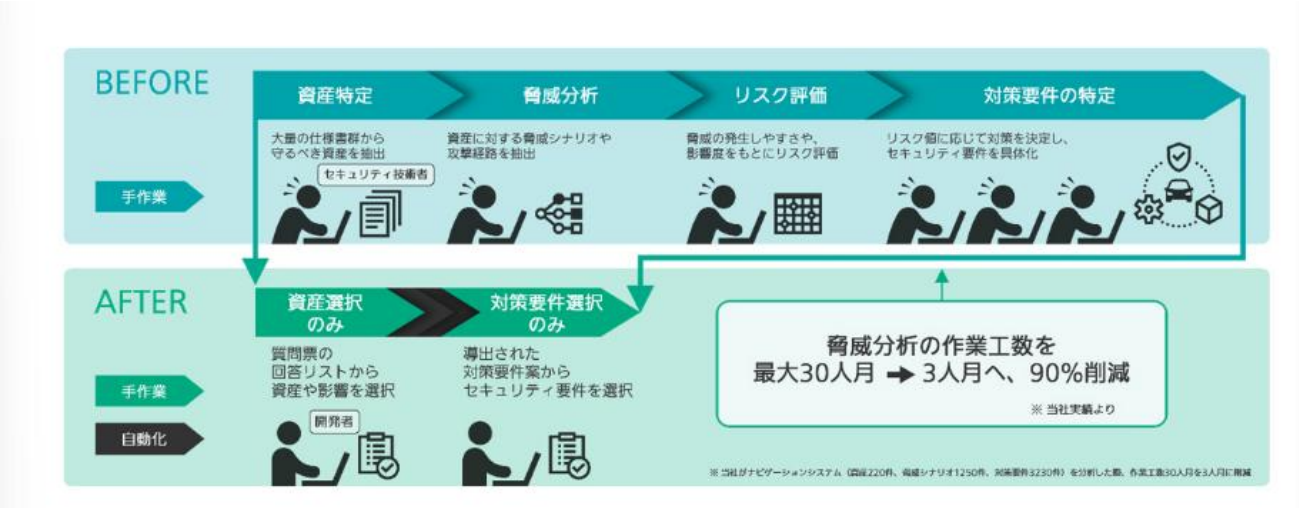
パナソニック オートモーティブシステムズが「MCPC award 2026」においてユーザー部門「ビジネス賞」を受賞

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（代表取締役社長：永易正吏、本社：神奈川県横浜市）は、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（以下、MCPC）が主催する「MCPC award 2026」において、ユーザー部門で「ビジネス賞」を受賞しました。受賞したのは、当社の自動車サイバーセキュリティソリューションの一つである脅威分析ソリューション「VERZEUSE for TARA（Threat Analysis and Risk Assessment）」の取り組みです。



「MCPC award」は、MCPC が 2003 年から毎年開催している表彰制度です。モバイル、IoT、AI、5G、ロボット、ドローン、クラウドなど、システム活用事例を募集し、新たな価値の創出に取り組む企業・組織・団体を広く表彰します。
そのうち、ユーザー部門は、「新規・既存問わず技術・サービス等を導入し、自社課題を解決した事例」を対象としています。

〈受賞テーマ〉自動車サイバーセキュリティソリューション「VERZEUSE for TARA」で脅威分析工数最大 90%削減※1
自動車業界においてサイバーセキュリティ対応が重要性を増す一方、専門知識を持つ人材の不足が課題となっています。当社は、本課題に対応するため、脅威分析ソリューション「VERZEUSE for TARA」を開発しました。本ソリューションは、開発の初期段階において、車両および車載機器のサイバーセキュリティリスクを網羅的に分析し、ISO/SAE 21434※2に準拠した脅威分析結果を短期間で導出します。開発者は、セキュリティに精通していなくても、選択式の質問票に回答することで、車載機器の特性に応じた対策要件を決定できます。
当社の車載製品延べ 100 製品以上に適用しており、従来の手作業による脅威分析と比較して、作業工数を最大 90%削減した実績があります。



※1 当社がナビゲーションシステム（資産 220 件、脅威シナリオ 1,250 件、対策要件 3,230 件）を分析した際、作業工数 30 人月を 3 人月に削減。
[プレスリリース]ISO/SAE 21434 準拠脅威分析ソリューション「VERZEUSE® for TARA」を開発（2024 年 10 月 24 日）https://news.panasonic.com/jp/press/jn241024-3
※2 ISO/SAE 21434 は、自動車の開発から運用までを対象とした、車載サイバーセキュリティの国際規格です。

「VERZEUSE」について

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社は、サイバーセキュリティ技術・サービス「VERZEUSE」（https://automotive.panasonic.com/innovation/cyber-security）をグローバルに展開しています。当社は、テレビ、レコーダー、携帯電話、スマートフォン、決済端末、半導体などパナソニックグループのさまざまな製品においてセキュリティ技術の開発に携わってきた技術者が結集し、2014 年よりそれぞれの強みを活かしたサイバーセキュリティ技術の開発やオートモーティブ製品への搭載を進めてきました。豊富な知識や経験に裏打ちされた技術を社会でさらに役立てていくために、自動運転機能やネットワークサービスの安心安全の確保に貢献します。

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社について

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社は、日本を本社とし、海外 8 ヵ国に傘下子会社を有するグローバル企業です。Tier 1 として、国内外の自動車メーカーに、インフォテインメントシステムをはじめとする当社ならではの先進技術を提供し、快適で安心・安全なクルマづくりに貢献しています。企業ビジョンに、世界一の「移ごこちデザイン」カンパニーを掲げ、人に寄り添う技術で世界のお客様のご期待にお応えします。
なお当社は、2027 年 4 月 1 日より社名を「モビテラ株式会社」に変更いたします。
https://automotive.panasonic.com/

報道関係者様 お問い合わせ先

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 経営企画センター コーポレートコミュニケーション室
e-mail: press-pas@ml.jp.panasonic.com Tel：045-939-6103